

令和3年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・授業のねらいと活動の流れを明確にし、生徒が見通しをもって授業に取り組むことができた。
- ・合唱の活動において、リーダーを中心に活動する流れを作ることができた。
- ・楽曲を深く理解するため、ICT機器やパワーポイント等を用いて、生徒が興味や親しみをもちやすいような教材を提示できた。

(2) 課題

- ・生徒たちがより意欲的に、自ら進んで活動できる環境を整える。
- ・表現をより深め、表現する楽しさが味わえるような活動を追求すること。
- ・歌唱や器楽等で表現活動に消極的な生徒や苦手意識の強い生徒も、取り組みやすい雰囲気づくり。

2 授業の分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
新しい表現技能の学習においても、積極的に習得しようとする姿勢が見られた。基礎的な知識を丁寧に伝え、理解したことを技能の習得に繋げていく必要がある。	表現の工夫やこだわりをより追求していくことに課題がある。表現のポイントを示し、それらを意識しながら練習をできるようにしていく必要がある。	表現活動を中心に、全体的に意欲的に取り組む様子が見られた。生徒から出てきた意見を表現活動に繋げていくことが課題である。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基礎的な技能の習得に、個人差が見られるため、基礎的な技能の反復練習がより必要である。	仲間の様子を参考に、表現の工夫を模索し練習することができた。様々な表現の仕方を学び、自己の表現の工夫に生かせるようになるのが課題である。 楽曲の特徴を文章にすることに課題が見られる。	表現活動において、取り組みの姿勢に個人差が見られた。振り返りカードを活用し、前回の学習を踏まえて、取り組めるようにしていく必要がある。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
発展的な技能の習得にも意欲的に取り組み、習得した技能を生かして表現活動ができた。技能の定着を図るため、学習活動を工夫し、段階的に技能を習得できるようにする必要がある。	1、2学年の学習で身に付けたことを生かし、相手に伝わるような表現の工夫を、日頃の歌唱活動から実践していく必要がある。	より高い目標を達成できるよう、パート練習などに意欲的に取り組み、意見を出し合い進められるようにしていく必要がある。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>反復練習や、単元を越えて基礎・基本を繰り返し学習することで定着を図るとともに、スモールステップで目標を設定する。</p> <p>グループ練習を通して、アドバイスをしあって技能を高めていけるようにしていく。</p>	<p>表現方法の見本や例をたくさん示すことで、生徒たちの表現の幅を広げさせていく。</p> <p>鑑賞活動を通して、音の表現を文章にする力を身に付けさせていく。</p>	<p>生徒たちの意見を共有しながら、パートや全員で実践していく。練習を通して失敗も経験させることで、改善点を見つけ次に生かしていけるようにする。</p>

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>反復練習をすることで技能の定着を図るとともに、スモールステップで目標を設定する。</p> <p>グループ練習を通して、アドバイスをしあって技能を高めていけるようにしていく。</p> <p>自信をもって表現できる力を身に付けさせる。</p>	<p>表現方法の見本や例をたくさん示すことで、生徒たちの表現の幅を広げさせていく。</p> <p>鑑賞活動を通して、イメージを膨らませ、多くの生徒の意見を共有することで音の表現を文章にする力を身に付けさせていく。</p>	<p>授業の最初に授業カード等で前時の振り返りを行い、リーダーを中心に、パートや全員で練習に取り組めるようにしていく。練習を通して失敗も経験させることで、改善点を見つけ次に生かしていけるようにする。</p>

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>反復練習をすることで技能の定着を図るとともに、スモールステップで目標を設定する。</p> <p>グループ練習を通して、互いに技能を高めあえるようにしていく。</p> <p>誰かに頼ることなく、一人でも自信をもって表現できる力を身に付けさせる。</p>	<p>表現方法の見本や例をたくさん示すことで、生徒たちの表現の幅を広げさせ、実践できるようにしていく。</p> <p>鑑賞活動を通して、イメージを膨らませ、読み手に伝わることを意識して文章を書けるようにしていく。</p>	<p>リーダーだけでなく、全員が意見を言いやすい環境を整え、多くの生徒が活躍できる場面を設定する。練習を通して失敗も経験させることで、自分たちで改善点を見つけ次に生かしていけるようにする。</p>